

八次中学校給水タンク改修工事設計図

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808	図面名 表 紙		工事名 八次中学校給水タンク改修工事 設計図						
				縮尺 —		製作日		1級建築士 第111572号	永井秀昭			
												No. A - 0

工 事 概 要

工事名称	八次中学校給水タンク改修工事	
発 注 者	住 所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
	氏 名	三次市長 福岡 誠志
施設概要	施設名称	三次市立八次中学校
	地名地番	三次市鼠数町1860番地1
	建物用途	学校
	工事の種類別	改修工事
	構 造	R C造
	階 数	4 階建て
	受水槽	12 t

工事概要

本工事は、八次中学校の受水槽の改修工事です。

既設建物を使用しながらの改修工事の為、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。

また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。

尚、下請協力業者は実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。
別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。
不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

・工事工程等

事前に関係者（教育委員会・都市建築課・学校・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し、承諾を得た後工事に着手してください。

全体の工期は入札要綱の通りです。

・工事中の移動及び復旧

工事等の支障になる物の移動及び復旧等は全て工事請負業者の負担で行ってください。

工事監理を建築設計事務所に委託しておりますので提出書類等は工事監理者を通して提出ください。

【 注意事項 】

別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料としてください。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨んでください。

尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指示事項 】

① 工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。

② 工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに請負業者で解決を図ること。

③ 火災等発生しないよう最善の注意をすること。
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結して保険証書を提出すること。
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。
尚、敷地内は全て禁煙とする。

④ 振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。

⑤ 作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。

⑥ 着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。
毎日最低 1 回は工程表の見直しを行い、 7 日以上の変れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。

⑦ 既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。
この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。

⑧ 図面を製本し提出すること。 ・ A 4 版 2 部（表紙付、契約用）
・ A 3 版 部（現場用）
◎ A 4 版 3 部

⑨ 不明な点については、係員と協議の上施工すること。

⑩ 解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。必要に応じてマニフェストを提出すること。

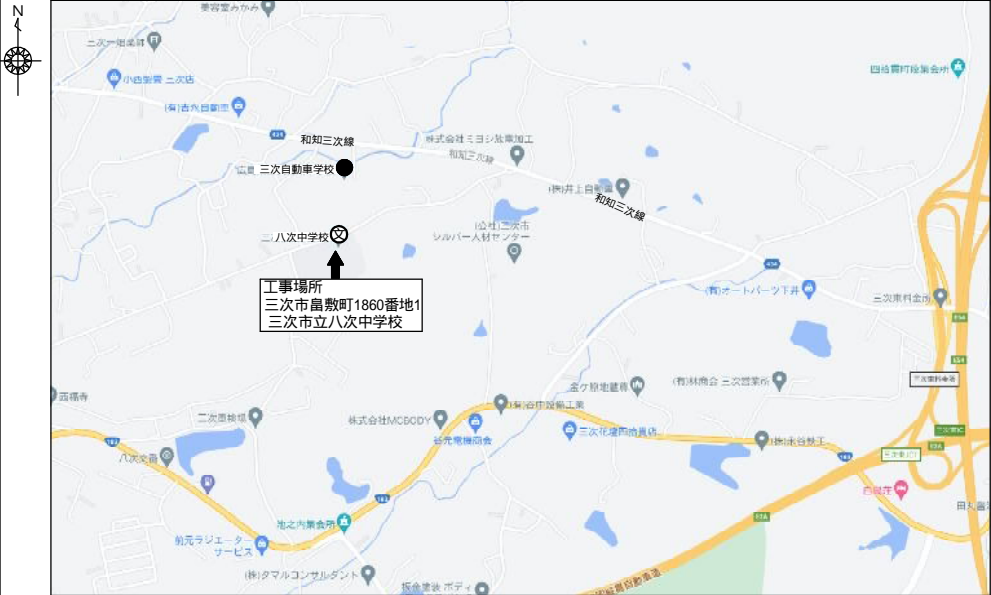
⑪ 工事着手前に大気汚染防止法第18条の15第1項，3項による調査を行う事。

提出書類一覧

提出書類様式は発注者HPからダウンロードして作成の事。
提出書類表紙(工事打合せ簿)に監理者押印欄を記入の事。

提出書類は A 4 又はA3二つ折とする事。

工 事 名		八次中学校給水タンク改修工事	請 負 業 者		
		項 目	部数	提 出 期 日	備 考
○	1	着手届（発注者書式）	3	契約後速やかに	工事監理者にも提出の事
○	2	主任技術者・監理技術者・現場代理人通知	3	14日以内	雇用関係証明書添付
○	3	同上暫約書及び経歴書（書式は自由）	3	14日以内	免許証等（写し）添付
○	4	工事カルテ（コリンズ）	3	10日以内	請負契約500万円以上
○	5	詳細基本工程表	3	14日以内	A 3 版程度
○	6	見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	14日以内	A 4 版
○	7	施工体制台帳及び施工体系図	3	14日以内	下請業者名簿共
○	8	退職金共済制度（建退共）	3	14日以内	
○	9	工事材料搬入・検査報告書(材料確認書)	3	事由発生後14日以内	納入実績量共
○	10	総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5日以内	A 3 版程度の図面添付
○	11	提出書類綴込み用空ファイル	3	5日以内	10 c m用程度
○	12	建設リサイクル法届	3	契約時	
○	13	消防設備設置計画書	3	工事着手前	
○	14	給水装置工事申込書及び完了届，完了検査	3	工事着手前	
	15	排水設備等計画確認申請書	3	工事着手前	完了届共
○	16	社会保険等	3	各工事着手前	
○	17	再生資源利用計画書	3	工事着手前	
○	18	大気汚染防止法説明書及び調査	3	着工迄に	大気汚染防止法第18条の15第1項，3項
○	19	工事用保険証の写し(火災保険共)	3	着工前	工期の20日延長
○	20	施工図・製作図・承認図	3	各工事着手前	
○	21	施工計画書	3	各工事着手前	
○	22	材料承認願い等	3	各工事着手前	
○	23	主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	省略不可
○	24	コンクリート配合表	3	工事着手前	
○	25	コンクリート圧縮試験結果表	3	7日以内	4 週（公共機関試験）
○	26	休祭日作業届	3	工事着手前	
○	27	期間別工事工程報告書(現況写真添付のこと)	3	毎月 2 回	工程が確認できるように撮影
○	28	工事履行報告書	3	毎月7日までに	工事状況が確認できる写真添付
○	29	工事打合簿，工事指示書，工程会議資料等	3	随 時	
○	30	質疑回答書	3	必要に応じて	
○	31	産業契約書及びマニフェスト写し	3	受領後速やかに	写真添付
	32	アスファルト調合表、試験表	3	随 時	
	33	工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	写真添付のこと
○	34	鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	ミルシート等
○	35	各種試験成績書(アンカー引抜，溶接探傷等)	3	随 時	
○	36	機能及び性能試験成績書	3	随 時	
	37	出来高請求書	3	随 時	写真添付
○	38	再資源化等報告書	3	完了後速やかに	
○	39	材料出荷証明書	3	完了時	
	40	塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	空缶等確認出来る写真共
○	41	電気絶縁抵抗試験表	3	完了時	
	42	テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時	
○	43	接地抵抗試験表	3	完了時	
○	44	水圧試験報告書	3	完了時	
○	45	ガス気密試験報告書 各種試験報告書	3	完了時	
○	46	電気メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	47	水道メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	48	安全実施報告書（KY，バトロール，安全日誌等）	3	完了時	
○	49	下請負業者一覧表（メンテナンス用）	3	完了時	住所，電話他記載
○	50	社内検査表（チェックリスト添付）	3	完了時	
○	51	各工事保証書(防水，各機器等)	3	完了時	
	52	鍵番号表及鍵引渡書	3	完了時	
○	53	竣工図（文字入り製本・A 3 版二つ折）CD共	3	完了時	原図を訂正のこと
○	54	工事写真	3	完了時	C Dデータ
○	55	完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	C Dデータ
○	56	完成通知届	3	完了14日前迄に	
○	57	引渡書	3	検査通知後14日以内	
○	58	上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時	



付近見取図



有限会社 永井 一 級 建 築 士 事 務 所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

T E L 0847-67-2472

広島県知事登録（ 24(1)第3940号 ）

F A X 0847-67-3808

図面名

工事概要・付近見取図

工事名

八 次 中 学 校 給 水 タ ン ク 改 修 工 事

設 計 図

1 級 建 築 士
第111572号

永 井 秀 昭

No. A - 1

工事概要

1 工事名称

八次中学校タンク改修工事

2 建築場所

三次市敷数町1860番地1

3 主要用途

・中学校

4 工事種別

・改修

5 構造階数

・RC造 4階建

6 工事種目

1, 建築工事 一式

2, 電気設備工事 一式

3, 機械設備工事 一式

4, 上記に伴う工事 一式

建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁整備部の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、○印の付いたものを適用する。

○印と○印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の(別)は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

(6) [G] 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

(7) 瑕疵担保調査・建設工事請負契約款に定める期間内

章

項目

特記事項

1 一般共通事項

① 通用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁官庁整備部建築監修 平成22年版）
○建築設計標準・同解説（建設大臣官庁官庁官庁整備部監修 平成10年版）
○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官庁官庁官庁整備部監修）

② 工事実績情報の登録

適用する (1.1.4)

③ 品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1.2.2)

風速（V0=30）
地表面粗度区分（・・・○・）
○積雪区分 建造示第1455号 76 cm

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、 (1.3.3)

電気工作物の保安の業務を行うものとする。

・要 ○不要

5 条件明示項目

(1.3.5)

⑥ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの () (1.3.8)

・特別管理産業廃棄物 ()
・現場再利用を図るもの ()
○再生資源化を図るもの ()
(○建設発生土 ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 ○鉄くず)
○上記以外 1.1.13(b)(5)及び監督職員との協議による。

(1) 建設工事（解体撤去工事も含む）から発生する建設廃棄物は、「産業物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、建設副産物適正処理推進要綱に基づき適正に処理すること。

また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート及び木材）が廃棄物になったもの）については建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法。」）及び「産業物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法。」）を遵守し、適正に処理すること。

(2) 元請け業者は、請け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること。

(3) 建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理計画書」、「再生資源利用計画書及び「再生資源利用促進計画書」のとおり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地に於いて現地による確認、立入検査を行うこと。

(4) 提出書類

元請け業者は、工事着手前に、次の書類を監督員に提出すること。

○建設廃棄物処理計画書
以下の書類を添付すること。

ア 産業物処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）の許可の写し

イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したもの。

ウ 処分場の現地確認写真

エ 建設工事の元請け業者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）との2者の業務委託契約書の写し

○再生資源利用計画書 ○再生資源利用促進計画書

7 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

元請け業者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。

○再生資源利用実施書 ○再生資源利用促進実施書
以下の書類を添付すること。

ア マニフェスト（産業廃棄物管理票）A・D・Eの写し及び再生資源化に係るものについては、受入伝票の写し（マニフェストは原則として厚生労働省が示す全国統一のマニフェストを使用）

イ 収集、運搬の写真、中間処理場・最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への処分、状況の写真（5）本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。

(6) 本工事における再生資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（5）に掲げ施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も適当になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再生資源化に要する費用（単価）は変更しない。

(7) 産業廃棄物の処理に係る税について、本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県が最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処分すること。

なお、本工事は広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。

(8) 本工事は、建設副産物情報交換システム（（財）日本建設情報総合センター）の登録工事であり、請負者は施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。

また、再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書について、当該システムにより作成し、施工計画書に添付すること。なお、これにより難い場合は、監督員と協議すること。

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとしJIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの要となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会「建築材料等評価名簿」）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

使用する材料・製品はアスベストが含有しないものとする。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。

1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

3）接着剤はフタル酸ジ・n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難燃発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他機器等は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外

JIS及びJASのF規格品
建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

第三種
JIS及びJASのF規格品
建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
旧JISのE0規格品
旧JASのF00規格品

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

10 技能士 (1.5.2)

11 化学物質の濃度測定 (1.5.9)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度測定し、報告すること。

測定はアクティブ型採集測定機器により行う。

着工前の測定 ・行う
測定対象室 ・図示 ・新築建物全て
測定箇所数 ・図示 ・砂所
・文部科学省が定める指針値以下であること

報告の様式等については、現場説明書による。

⑪ 完成写真

⑫ 完成図等

作成する ・作成しない
完成図（CADデータ）共 提出部数 各3部 ・部 (1.7.1-3) (表1.7.1)

A 2版 2ツ折張り合せ製本 3部
A 3版 2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版 2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部
保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原稿の大きさ（mm）

○カラー
キャビネ版
べた焼
(他に外観正面＋カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）
カラー半切木製パネル 外部（ ）内部（ ） 2
324×400（mm）

○電子データ 外部（4）内部（各室2枚） 3 1000万画素以上
300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑬ 設備工事との取合い

⑭ 設計GL

⑮ 工事写真

⑯ 保証書

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

図示 ○設計GL＝現状GL（既設建物に準ずる）

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

○~~「営繕工事・全管帳書き」~~・~~「元請け業者」~~・~~「一般職施工業者の連名」~~ ○保証期間：2年 ○~~ホ~~保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所

② 工事用水

③ 工事用電力

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設けない (2.3.1)

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有償・無償） (2.3.1)

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有償・無償） (2.3.1)

3 土工事

① 埋戻し及び盛土

② 建設発生土の処理

3 整地

種別 ○A種 B種 ・C種 ・D種 (3.2.3) (表3.2.1)

・建設汚泥から再生した処理土 [G]

○現場説明書による ○構外搬出適切処理 (3.2.5)

・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し
・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み平坦整地のこと。（2m範囲）

4 地業工事

1 既製コンクリート杭地業

1A 地盤改良

種類 高強度プレストレストコンクリート杭 (4.3.1-2)

図示

試験杭

本杭

杭径（mm） 杭長（m）及び種別 継手数 セット数 備考

杭頭処理 切断しない (4.3.7)

先端部形状 開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2)

杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4.3.6)

施工法 (4.3.3-5)

・特定埋込み杭工法
工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法
H13国交告1113号第6による支持力算定式で＝250程度を採用できる工法
杭周固液 ・使用する

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による (4.5.3) (表4.5.1)

コンクリートの種別及び設計基準強度 ()種かつ(2.1)N/mm²以上 (4.5.3)

鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3)

堀削工法 ・アースドリル工法（安定液使用 ・無濁削削） (4.5.4)

・リバース工法
・オルケーシング工法（孔内の水張 ・行方 ・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・拡底杭工法（安定液使用 ・ ）
・深埋
側壁測定 ・行方 () ・行わない (4.5.4)

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による (4.5.4)

・別図参照

2A 鋼管杭

3 砂利地業

4 床下防湿層

再生クラッシュサン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示 (4.6.3)

(4.6.6)

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種類

種類の記号 呼び名（mm）

○SD295 D16以下

・SD345 D19～D25

・SD390 D29以上

・溶接全鋼

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重な継手 (5.3.4)

③ 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5)

○全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）

・構造参照 ○基礎 10 ・20

○標準仕様書による

構造図を優先とする

6 コンクリート工事

構造設計標準仕様による（）

構造図を優先とする

7 鉄筋工事

構造設計標準仕様による（）

4 既製コンクリート杭の杭頭補強

5 最上階柱頭補強

6 帯筋

7 開口部部の補強

8 梁貫通孔の補強形式（基礎共）

9 機械吊上げ用フック

10 圧接完了後の試験

11 その他

・A形 ・B形 図示 (5.3.1) (別1.1)

行方 ・行わない (別2.1)

H形 ・図示（構造図） (別2.2)

A形 ・B形 ・図示（構造図） (別4.2) (別表4.3-4)

H形 ・MH形 ・M形 ・評定品 ・図示（構造図） (別7.1) (別表7.1-3)

・A種 ・B種 ・C種 ()ヶ所 (別7.3)

超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)

・構造仕様書を優先とする (6.1.4)

設計基準強度 F_c（N/mm²） 施工箇所

○21・温度補正 建物基礎、立上り、土間、受水槽基礎

・18 雑、デブリ

・24 上部躯体

構造図を参照

・発注強度は上記設計基準強度＋S（構造体強度補正值）とする。

類 ・類 (6.1.5) (6.4.1-2) (表6.1.1)

② レディーミキストコンクリートの類別

③ スラップ

④ セメントの種類

工作物のスラップ 15又は18cm（建物躯体はS-01図参照） (6.2.3)

(6.3.2) (6.13.2) (6.16.2) (表6.3.1)

普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種（但し、シリカセメントを除く）
・高炉セメントB種 [G] ()

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱 7d 352J/g以下
28d 402J/g以下

アルカリシリカ反応による区分 A
・B（コンクリート中のアルカリ総量R_t＝3.0kg/m³以下） (6.3.3) (6.5.4)

⑤ 骨材の種類

⑥ 混和材料

⑦ 無筋コンクリート

⑧ コンクリート躯体表面の処理

⑨ 断熱材兼用型枠

⑩ 型枠

⑪ 水セメント比

設計基準強度 18N/mm² (6.14.3)

外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

・コンクリートの増打り厚さ 20mm
施工範囲は図示による。

適用及び適用箇所について
標仕19章内装工事14断熱材による。

塗装の有無 ○無し ・有り

普通コンクリートの水セメント比は65%以下とする。

1 鉄骨の製作工場

製作工場の加工能力 (7.1.3)

・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の4第5項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（株）全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（Ⅱ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

2 施工管理技術者

3 鋼材

鋼材の材質 (7.2.1) (7.2.10) (表7.2.1)

種類の記号 使用箇所 規格等

SS400 鋼棒 L形鋼 JIS規格による

SSC400 JIS規格による

STKR400 JIS規格による

SNR400B JIS規格による

構造図を参照

改良型スカラップ

鋼製エンドタブ

切断する箇所（・図示による） ()

トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.12.4)

AOQL 4.0% ・2.5% (7.6.11)

検査水準 第6水準 ・図示 (7.6.11) (表7.6.2)

試験の種類 試験箇所 試験方法

超音波探傷試験 完全溶込み溶接部 標仕7.6.11(b)による

・放射線試験 ・図示 ・全数

・マクロ試験

・別図参照

MEMO

有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472

広島県知事登録（ 24(1)第3940号 ） F A X 0847-67-3808

図面名

建築工事特記仕様書（1）

縮尺

— 製作日

工事名

八次中学校給水タンク改修工事 設計図

1級建築士 永井秀昭

No. A - 2

〰

〰

1 . 工事名称		八次中学校給水タンク改修工事		6 . 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分		6 . 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分		9 . 凡 例							
2 . 工事場所		三次市畠敷町1860番地1		〇 幹線設備		施工範囲		設備				記 号		名 称		適 用		標準取付高さ	
3 . 建物概要		⊙ R C ・ S R C ・ S										⊙		照明器具		⊙ コード吊		⊙ 壁付 ● 非常照明	
4 . 主な用途		地下 階 / 地上 4 階 / 塔屋 階 / 延面積 3,410.50 m ²				電 圧						⎓		照明器具		□ □ 壁付		● ● 非常照明組込	
5 . 一般事項																			
1)適用基準等		本工事は設計図・特記仕様書によると共に、電気設備の技術基準、内線規程、消防法、建築基準法及び、その他関係法令・規則・条例に基づき、完全に施工するものとする。				配線種類		設備				⦿		誘 導 灯		⦿ 通路誘導灯は矢印を記入			
2) 疑 義		施工にあたり、疑義が生じた場合は、係員と協議すること。										⦿		屋 外 灯					
3) 官公庁その他の手続		本工事に必要な官公庁への手続きは、請負業者にて代行し、これに要する費用は、請負業者の負担とする。								〇 自動火災報知設備		受 信 機		・ 単独 ・ 複合 (・ 自立型 ・ 壁掛型)				⦿ 通話誘導灯は矢印を記入	
4) 工法の決定		施工者は、係員の承認なく、施工方法、使用材料及び使用機器を変更してはならない。 変更を行う場合は、速やかに変更図面を提出し、係員の承認を得た後に施工すること。		〇 動力設備		施工範囲						受信機設置場所		P 型 級 (自火報 回線 / 防排煙 回線)		E C		医用接地	
5) 提出書類		下記の ⊙ 印の書類を係員に提出すること。				制御盤を (・ 含む ・ 含まず) 二次側端子接続より、各動力負荷一次側接続まで。		〇 防排煙制御設備		制 御 盤		・ 単独 (回線) ・ 火災報知受信機組込		・		スイッチ		・ 片切 ● 2両切 ● 33路 ● 44路	
		工事書類 ⊙ 工程表 ⊙ メーカリスト ⊙ 承認図 ⊙ 施工図				インターロック配線 (・ 含む ・ 含まず)		〇 防排煙制御設備		制 御 対 象		・ 防火戸 ・ ダンパー ・ 防煙垂壁 ・ 排煙口		・		リモコンスイッチ		回路数は傍記による	
		完成書類 ⊙ 官公庁等への諸手続きの写し ⊙ 検査試験成績表				警 報 盤 (・ 含む ・ 含まず)				警 報 対 象		・ 排煙口 ・ シャッター		・		リモコンセレクタスイッチ		検認ランプ付、窓数傍記	
		⊙ 取扱説明書 ⊙ 工事記録写真 ⊙ 竣工図				警 報 配 線 (・ 含む ・ 含まず)				方 式		・ 突 針 ・ 棟上導体 ・		・		調 光 器		容量傍記、FLは蛍光灯用	
6) 検 査		工事完成後、三次市、その他官公庁の各種検査に合格すると共に、監督員の検査に合格すること。				空調機器入替に伴う電源線の撤去・再接続対応とする。		〇 避雷設備		仕 様 詳 細		・ 別図仕様書に依る		・		自動点滅器		特記なきは3Aとする。	
7) 特記事項		1) 工事項目は、番号の入っている設備項目を適用する。		〇 電灯コンセント設備		施工範囲		分電盤を (・ 含む ・ 含まず) 二次側端子接続より、配線器具等の取付まで。								⦿		制御用スイッチ	
		2) 仕様、工事内容及び工事区分は、⊙ 印を付したものを適用する。				配線器具		・ 大角連用型								⦿		⦿ F フロートレススイッチ (極数は傍記)	
		3) 機器の取付高さは、特に指示のない場合、標準取付高さによること。				配線器具										⦿		大きな傍記、⦿ 天井扇	
		4) (室名) で表示した部屋はスラブ天井を示し、その他は2 重天井を示す。								7 . 工事区分 (該当欄に 印で記します。)						⦿		容量は傍記	
		5) 特記なき配管種別はP F 管とする。								項 目		電気		建築		機械		別途	
		6) 配線器具プレート (・ 樹脂 ⊙ 新金属 ⊙ ステンレス ・)		〇 照明器具設備		施工範囲		照明器具の供給取付工事		電力会社 ・ N T T に納入する負担金								備 考	
		7) 屋外防水ブルボックスは (⊙ ステンレス ・ 亜鉛メッキ) 製とする。				器具仕様		・ 別図姿図に依る		テレビ受信のビル影障害調査及び補償費								＃	
		8) 国土交通省大臣官房営繕部監修電気設備共通仕様書 (最新版)						・ 空調機器取付に支障となる場合は、一時取り外し再取付とする		受電後、引渡し迄の電気基本料金及び使用料金				〇				基礎が必要な場合	
6 . 工事項目		仕 様、工 事 内 容 及 び 工 事 区 分								コンクリート基礎 (・ キュービクル ・ 発電機				〇				基礎が必要な場合	
〇 引込設備		電圧種別		・ 高圧 3 3W 6,000V (・ 50・60) Hz						シンダー・コンクリート打設工事								⦿	
				・ 低圧 3 3W 200V (・ 50・60) Hz		〇 電話配管設備		引込方法		ビット工事 (緑金物、蓋共)								P B X	
				・ 低圧 1 3W 200 / 100V (・ 50・60) Hz		(情報配管含)		建物内配管		フェンス設置工事								⦿	
		引込方式		・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中				構内配線		天井に取付ける機器の穴明けと補強工事及び取付枠								必要な場合	
										電気配線用点検口の設置工事								天井穴出し電気工事	
										電話器とその取付工事及び入線工事									
〇 受変電設備		形 式		・ キュービクル式 (・ PF-S ・ CB) ・ その他		〇 電話設備		交 換 機		空調機・ボイラ等の制御機器及び自動制御配線								⦿	
		施設場所		・ 屋内 (階)				構内配線		空調機の室内機・室外機間の引き配線								⦿	
				・ 屋外 (・ 地上 ・ 屋上)				仕様詳細		ファンコイル操作スイッチの供給取り付け工事								⦿	
										ファンコイル操作スイッチ・本体間の配管配線工事									
										換気扇の供給取付工事									
						〇 放送設備		用 途		電極棒及び保持器								⦿	
								増幅器設置場所											
〇 発電機設備		用 途		・ 常用 ・ 非常用 ・ 兼用 ・ コージェネ				仕様詳細											
				・ バックージ型 ・ 据置型 ・ 屋内型 ・ 屋外型															
		施設場所		・ 屋内 (階)															
				・ 屋外 (・ 地上 ・ 屋上)		〇 テレビ共聴設備		アンテナ											
		仕様詳細		・ 別図仕様書に依る						・ V H F ・ U H F ・ B S ・ C S ・ A M		8 . メ - カ リ ス ト (その他下記以外で、係員が同等品以上と認めたもの)				⦿		スピーカ機	
												電線ケーブル		J I S規格品		発 電 機		東芝・日立・松下・三菱・	
												バスダクト				エンジン		いすず・川崎・三菱・ヤンマー・	
												銅製電線管		摂陽・東芝・日本パイプ・松下・		直流電源装置		日本電池・古河・松下・湯浅・	
〇 蓄電池設備		用 途		・ 非常用 ・ 一 般 ・ 兼 用		〇 インターホン設備		用 途		摂陽・外山・東芝・日垂・松下・		電線管付属品		摂陽・外山・東芝・日垂・松下・					
		収容形式		・ 閉鎖型 ・ 開放架台				仕様詳細		合成樹脂電線管		古河・積水・東拓・松下・ミライ・		電話交換機		N E C ・日立・富士通・松下・			
		仕様詳細		・ 別図仕様書に依る						配線器具		神保・東芝・松下・明工社・		放送機器		トーア・東芝・ビクター・松下・			
										照明器具		日立・東芝・松下・三菱・		テレビ共聴		D X ・マスプロ・八木・			
						〇 ナースコール設備		通話方式		キュービクル		中電工・内外・日東・		電気時計計		セイコー・T I C ・松下・		□ □	
								夜間切り変え		高低圧配電盤		中電工・内外・日東・		インターホン		アイホン・ケアコム・東芝・松下・		⦿	
								仕様詳細		制御盤監視盤		中電工・内外・日東・		ナースコール		アイホン・ケアコム・東芝・松下・		⦿	
										分電盤端子盤		中電工・内外・日東・		自火報防排煙		ニッタン・ノーミ・ホーチキ・松下・		⦿	
〇 監視盤設備		形 式		・ 自立型 ・ デスク型										避 雷 針		大阪・日本・			
		監視対象		・ 受変電 ・ 衛生動力 ・ 空調動力															
				・ 温湿度 ・ 発電機 ・		● 給水タンク用設備		施工範囲等		⊙ 図 示 に よ る		高圧機器		I Ⅱ ・ Ⅲ ・ Ⅳ ・ Ⅴ 上 ・ 東芝・日立・三菱・					
												変 圧 器		ダイヘン・中機・東芝・日立・松下・三菱・					
												進 相 器		東芝・ニコチン・日立・松下・三菱・					
												</							

特記仕様書

建 物 概 要				工 事 概 要				配 管 材 料 お よ び 保 温 材																
工 事 名 称		八次中学校給水タンク改修工事		給 排 水 衛 生 設 備 工 事				空 気 調 和 設 備 工 事				名 称	材 料		保 温 材	区 分								
工 事 場 所		三次市畠敷町1860番地1		給 水 設 備 工 事				設 計 条 件		夏 季		冬 季		給 水 管		G W 保 温 材	屋 内							
工 事 種 別		・ 新 築 ・ 増 築 ○改 修		給 水 源 ○ 上水道 ・ 井 戸 ・ 簡易水道						乾 球 温 度	相 対 湿 度	乾 球 温 度	相 対 湿 度					G W 保 温 材						
主 体 構 造		○ R C ・ S ・ 耐火構造 ・ 簡易耐火構造		給 水 方 式 ・ 水道直結 ○ 高 架 水 槽						外 気	*	* %	*				* %		耐衝動性塩ビ管 (H I V P ・ P E)	土 中 コンクリ				
階 数		地上 4 階 地下 階 塔屋 階		引 込 管 口径 2 5 mm						室 内	*	* %	*				* %	排 水 管			硬質塩化ビニル管 (V P)	G W 保 温 材	屋 内	
面 積		建 物 名 称 延面積 (m ²) 備 考		追 記 事 項				機 器 設 備 工 事				汚 水 管	硬質塩化ビニル管 (V P)	G W 保 温 材	屋 内									
		中 学 校 3,410.50						排 水 設 備 工 事								冷 凍 機	ヒートポンプ 空 冷 水 冷		通 気 管	硬質塩化ビニル管 (V P)			G W 保 温 材	土 中
								排 水 方 式 屋 内 (汚水・雑排水) ・ 合流式 ・ 分流式							ボイラー		燃 料 灯 油 A重油							
								屋 外 (汚水・雨水) ・ 合流式 ・ 分流式									空 調 機 器	ヒートポンプ 空 冷 水 冷			ガ ス 管	硬質塩化ビニル管 (V P)		
				放 流 管 ・ 下水本管 ・ 側 溝 ・ 河 川 ・ 図 示				追 記 事 項	床 置 天 井 カセット		消 火 管	被覆銅管 (M)												
				接 続 管 口径 mm					換 気 方 式	隠 蔽 露 出 壁 掛				冷 却 水 管										
				追 記 事 項						換 気 設 備 工 事							第 1 種 第 2 種 第 3 種		膨 張 管					
				衛 生 器 具 ・ T O T O ・ I N A X ・ T O T O ・ I N A X 同等品				天井カセット式 局 所 式			換気扇 ・ 天井扇 ・ 有圧ファン		冷 媒 管											
				追 記 事 項 ・ 竹村製作所(不凍水栓柱) ・ 前澤化成					追 記 事 項		換気方式 <th rowspan="3">ド レ ン 管</th> <th rowspan="3"></th> <th rowspan="3"></th>			ド レ ン 管										
				給 湯 設 備 工 事						追 記 事 項	ダ ク ト 設 備 工 事 <th rowspan="3">油 管</th> <th rowspan="3"></th> <th rowspan="3"></th>								油 管					
				給 湯 方 式 局所式 中央式				ダ ク ト の 長 辺			ステンレス鋼板		換 気 ダ ク ト				スパイラルダクト (S P)							
				機 器 温水器 瞬間湯沸器 ボイラー					・ 厨房排気ダクトの板厚		垂 鉛 鉄 板													
				熱 源 ガ ス 電 気 油						矩 形 ダ ク ト の 場 合 (入 力 合 計 が 1 8 0 0 0 k c a l / h を 超 え る) (単 位 mm)	4 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
				追 記 事 項				エ ア ー 配 管 設 備 工 事			4 5 0 を 超 え 1 2 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
				1) 質疑応答書					LPG		1 2 0 0 を 超 え 1 8 0 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
				2) 現場説明事項						都市ガス	1 8 0 0 を 超 え る も の 0 . 8 以上 1 . 2 以上													
				3) 特記仕様書				追 記 事 項			円 形 ダ ク ト の 場 合 (入 力 合 計 が 1 8 0 0 0 k c a l / h を 超 え る) (単 位 mm)													
				4) 設計図					種 類		3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
				5) 共通仕様書						屋 内 消 火 栓 屋 外 消 火 栓 ス プ リ ン ク ラ ー	3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
				・ 日本建築家協会編共通仕様書				連 結 送 水 管 泡 消 火 ハ ロ ン 消 火			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
				○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事共通仕様書					冷 却 水 設 備 工 事		1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項	円 形 ダ ク ト の 寸 法														
								種 類		ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板														
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
									追 記 事 項		3 0 0 を 超 え 7 5 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
								追 記 事 項			7 5 0 を 超 え 1 0 0 0 以下 0 . 6 以上 0 . 8 以上													
										追 記 事 項	1 0 0 0 を 超 え 1 2 5 0 以下 0 . 8 以上 1 . 0 以上													
									追 記 事 項		円 形 ダ ク ト の 寸 法													
								追 記 事 項			ス テ ン レ ス 鋼 板 垂 鉛 鉄 板													
										追 記 事 項	3 0 0 以下 0 . 5 以上 0 . 6 以上													
		</																						

【特記事項】

工事着手前に水道課へ届出を行ってください。また、工事完了時には検査を受けてください。

MEMO



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

T E L 0847-67-2472

広島県知事登録 (24(1)第3940号)

F A X 0847-67-3808

図面名

機械設備特記仕様書

工事名

八次中学校給水タンク改修工事 設計図

縮尺

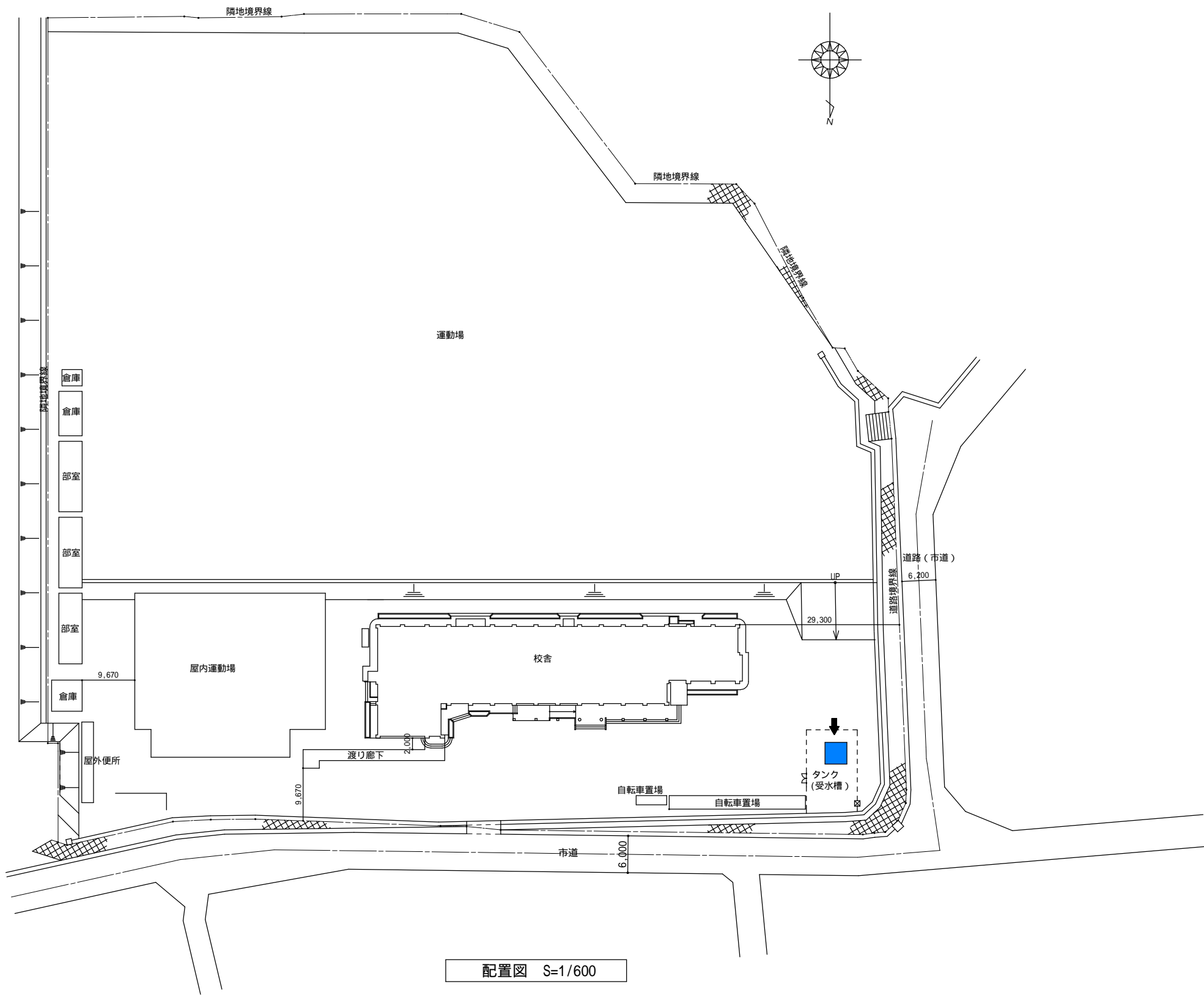
——

製作日

1級建築士
第111572号

永井秀昭

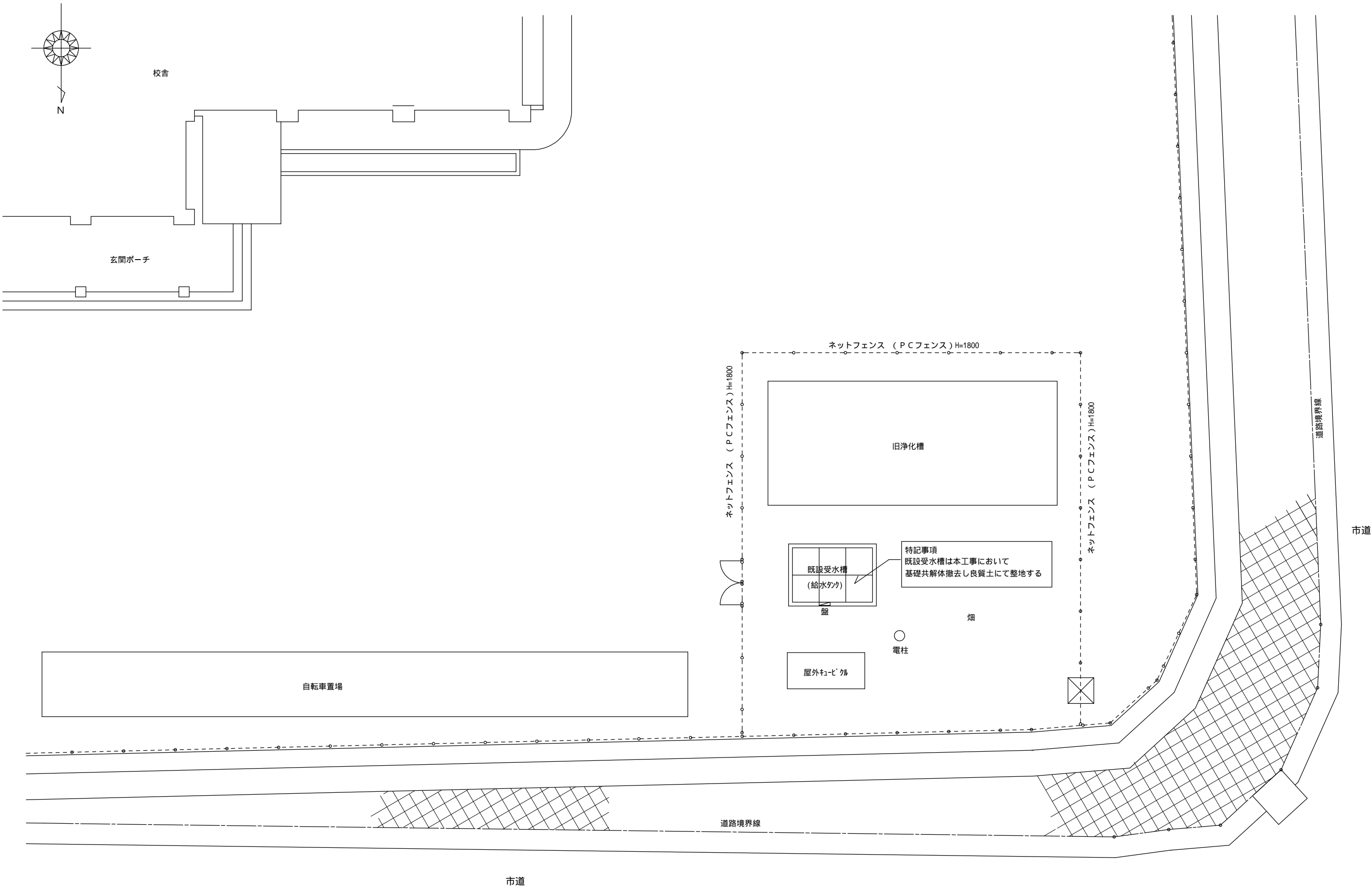
No. A - 4



配置図 S=1/600

(縮小率：A2=100%,A3=70%)

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472 広島県知事登録 (24(1)第3940号) F A X 0847-67-3808	図面名 配 置 図		工事名 八次中学校給水タンク改修工事 設計図									
					縮尺 S = 1 / 600 製作日		1級建築士 第111572号		永井秀昭						No. A - 5



配置図 S=1/100

(縮小率 : A2=100%,A3=70%)

MEMO	



有限会社 永井一級建築士事務所

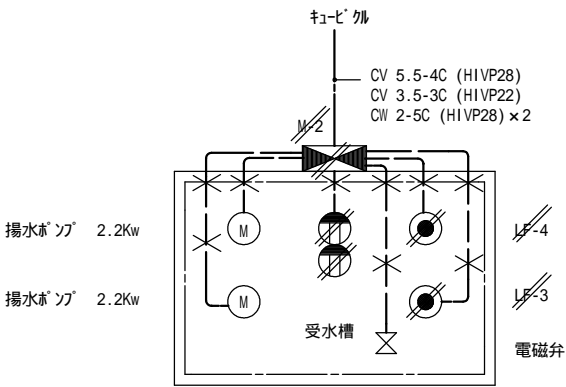
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472

広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

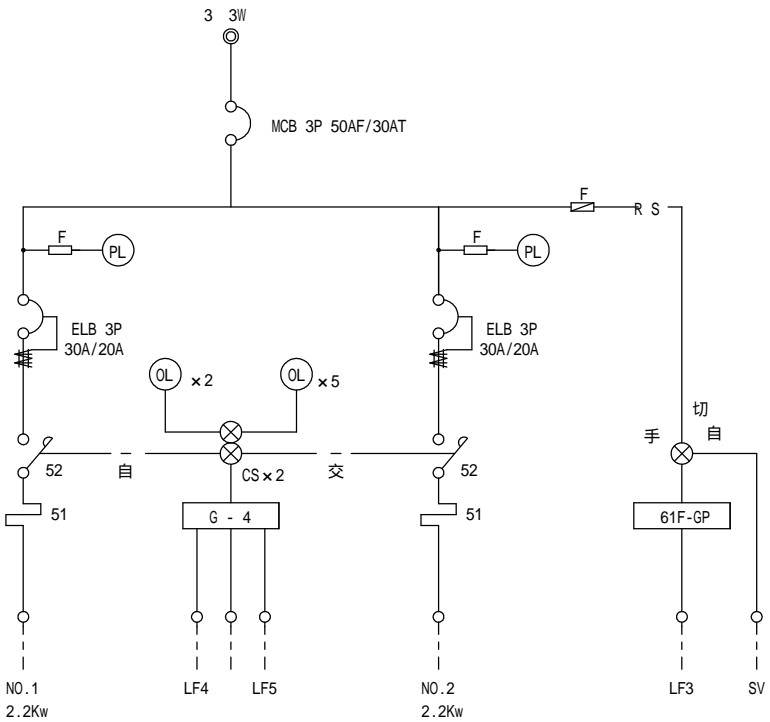
図面名	配置図
縮尺	S = 1 / 100
製作日	

工事名	八次中学校給水タンク改修工事 設計図				
1級建築士 第111572号	永井秀昭				No. A - 6

改修前

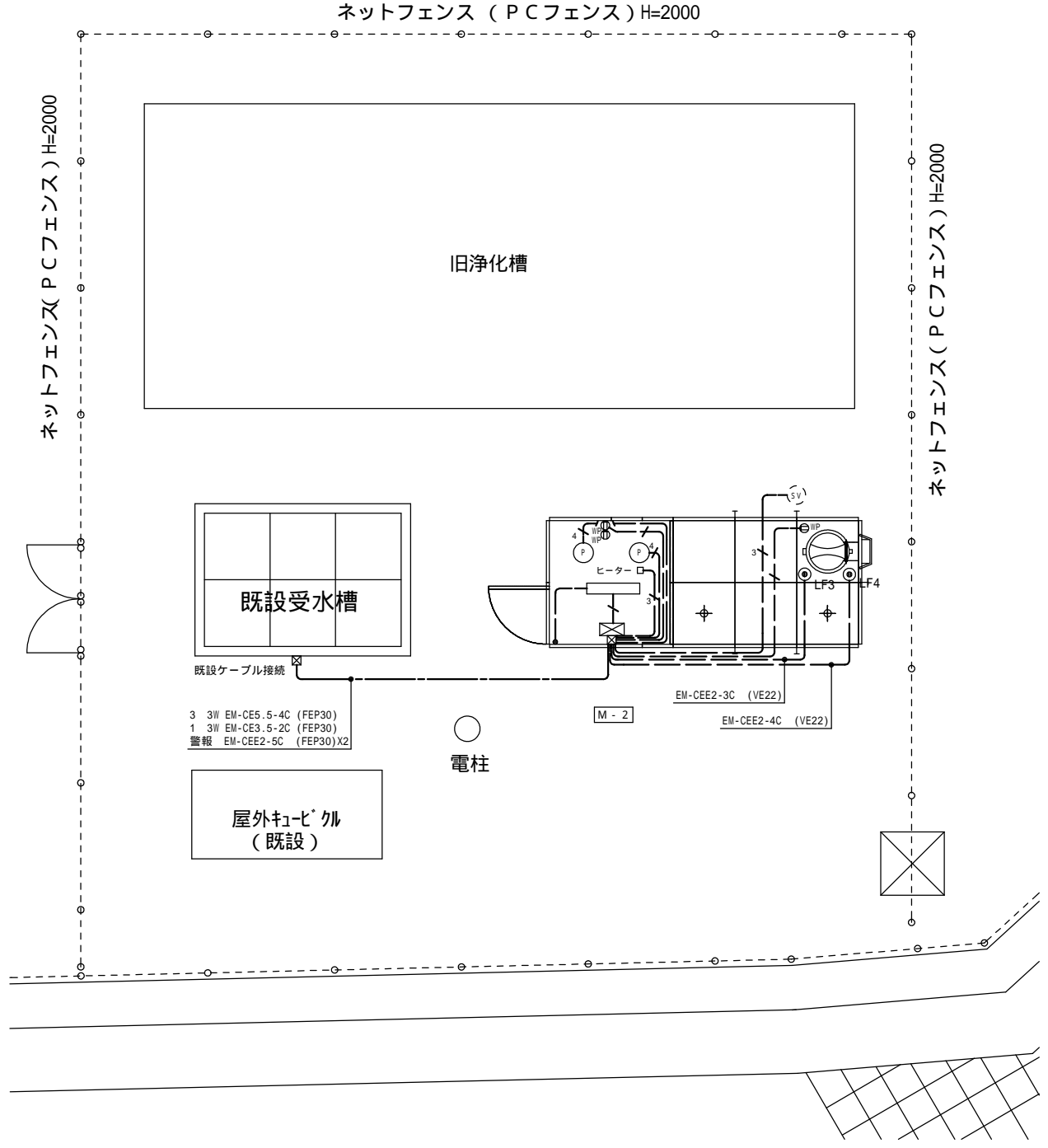


電気設備図 (改修前) S=1/50



M - 2 (防水) 詳細図

改修後



配置図

注記	
特記なき配線は下記による。	
	EM-EEF1.6-2C (VE16)
	EM-EEF2.0-3C (VE22)
	EM-CE3.5-3C (VE22)
	EM-CE3.5-4C (VE22)
	LED 1550lm

(縮小率 : A2=100%,A3=70%)

MEMO



有限会社 永井一級建築士事務所

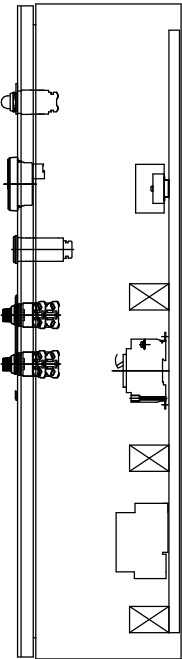
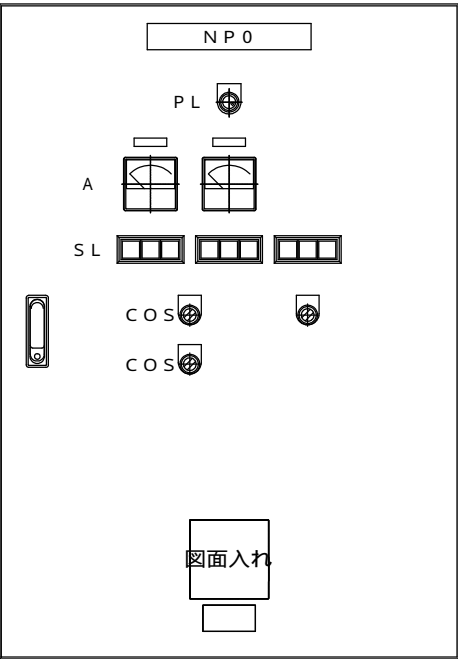
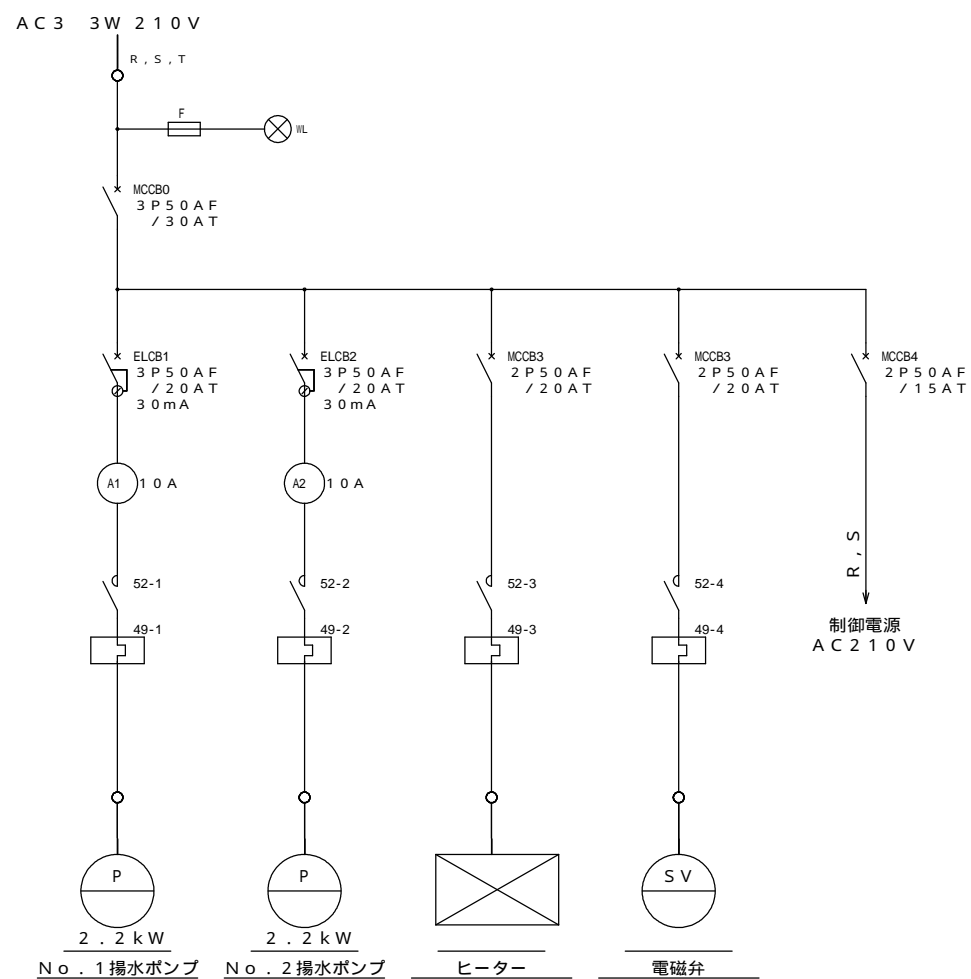
広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472
広島県知事登録 (24(1)第3940号) F A X 0847-67-3808

図面名 配置図・平面図・詳細図

縮尺 1/100 製作日

工事名 八次中学校給水タンク改修工事 設計図

1級建築士 永井秀昭 No. A - 7

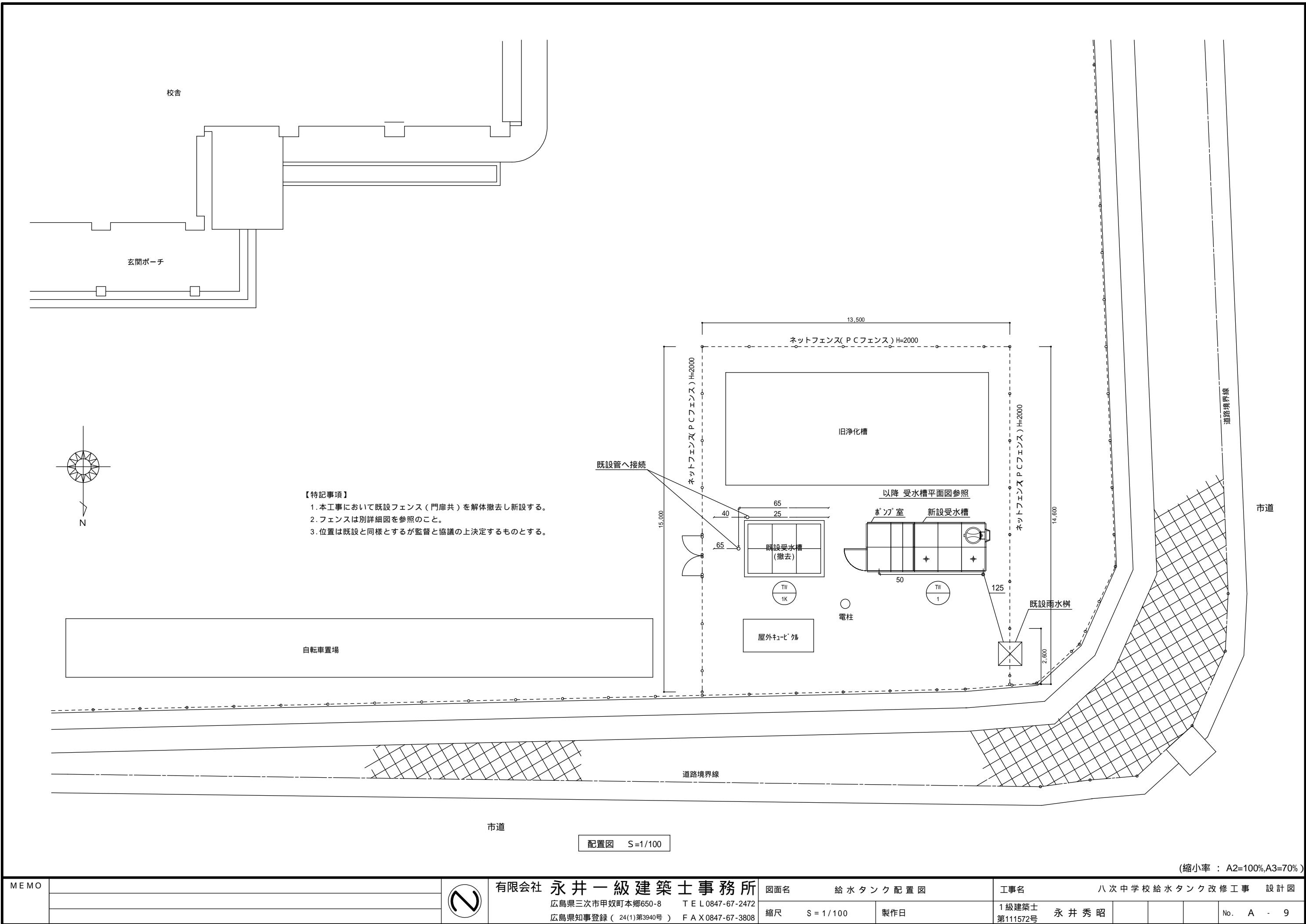


M - 2 姿図


(既設撤去+更新)

操作・制御方式	9 A B	4 - 1	4 - 1	
操作・制御スイッチ	G 4	Th	G 0	
備 考				

(縮小率： A2=100%,A3=70%)

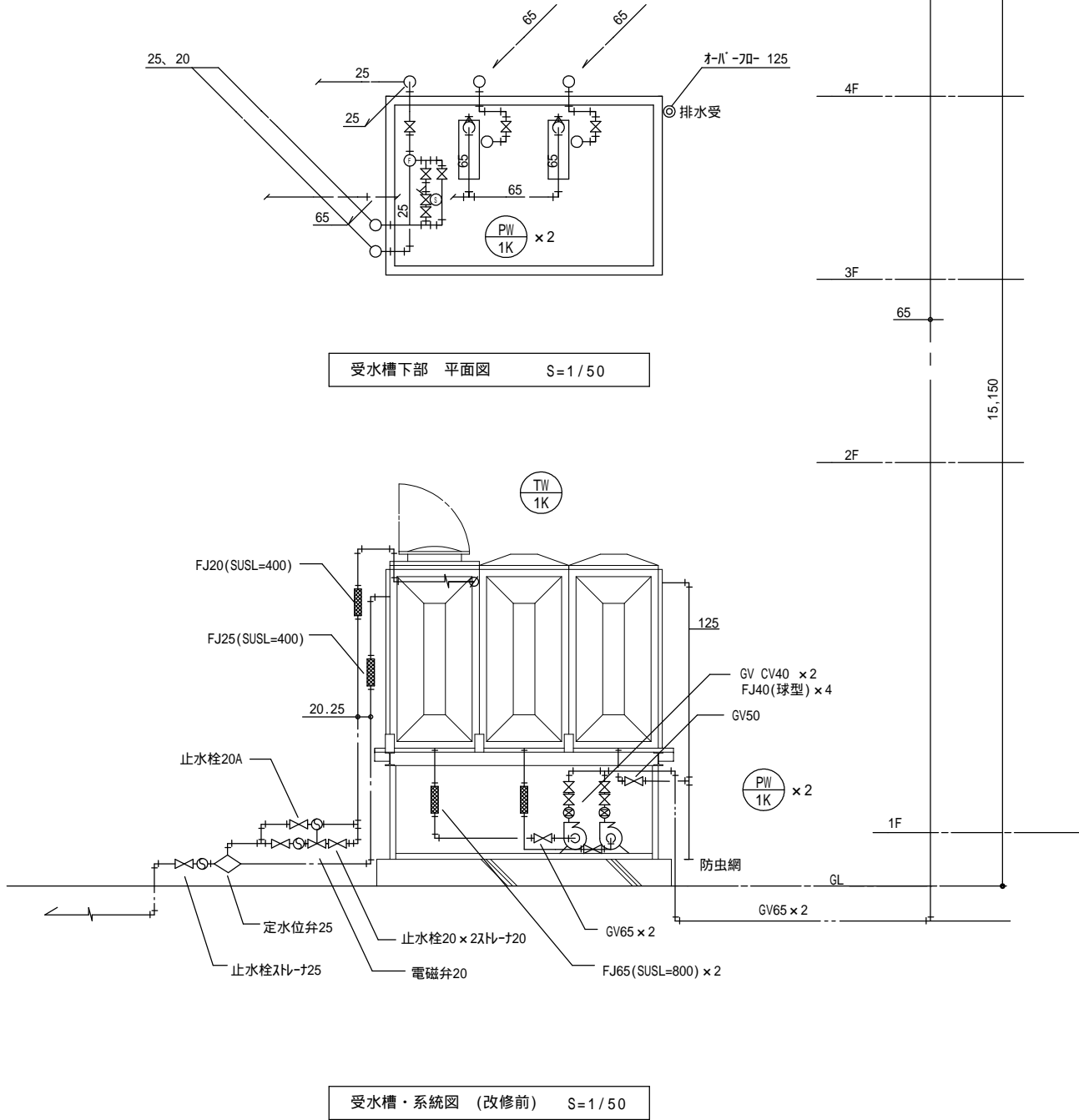


(縮小率：A2=100%,A3=70%)

MEMO			有限会社 永井一級建築士事務所		図面名 給水タンク配置図		工事名 八次中学校給水タンク改修工事 設計図						
			広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472	縮尺 S = 1 / 100	製作日	1級建築士 永井秀昭					No. A - 9		
			広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808			第111572号							

機器表			備 考
<div>TW 1K</div>	受水槽	FRP [®] 枠組立 複合板 有効水量 10.5m ³ 3.0×2.0×2.0H	解体・撤去 (更新)
		架台 1.2H コンクリート基礎 耐震基準 2/3 G	
<div>TW 2K</div>	高置水槽	FRP [®] 枠組立 複合板 有効水量 2.7m ³ 2.0×2.0×1.0H	再使用
		平架台 トレパン 耐震基準 1.0 G	
<div>PW 1K</div>	揚水ポンプ	多段渦巻 40 ×170 L/min ×32m 2台 × 2.2Kw (3 200V) 4P	撤去 (更新)
		自動交互 圧力ゲート 弁 弁 弁 フランジヒーター共 屋外型 受水槽下部	

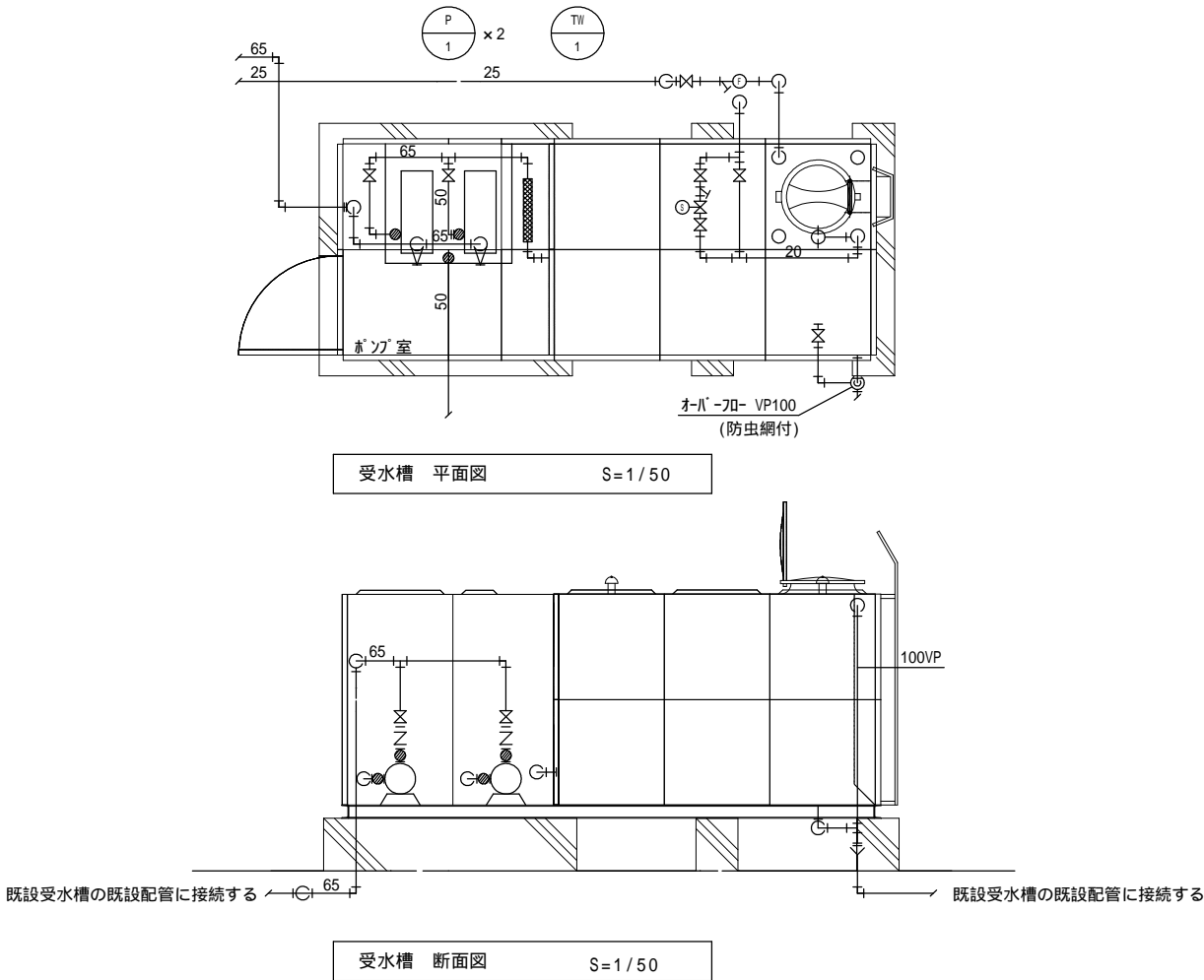
基礎，架台，タンク本体及び地上部の露出配管は全て撤去、埋設配管は残置(新設工事支障部分以外)



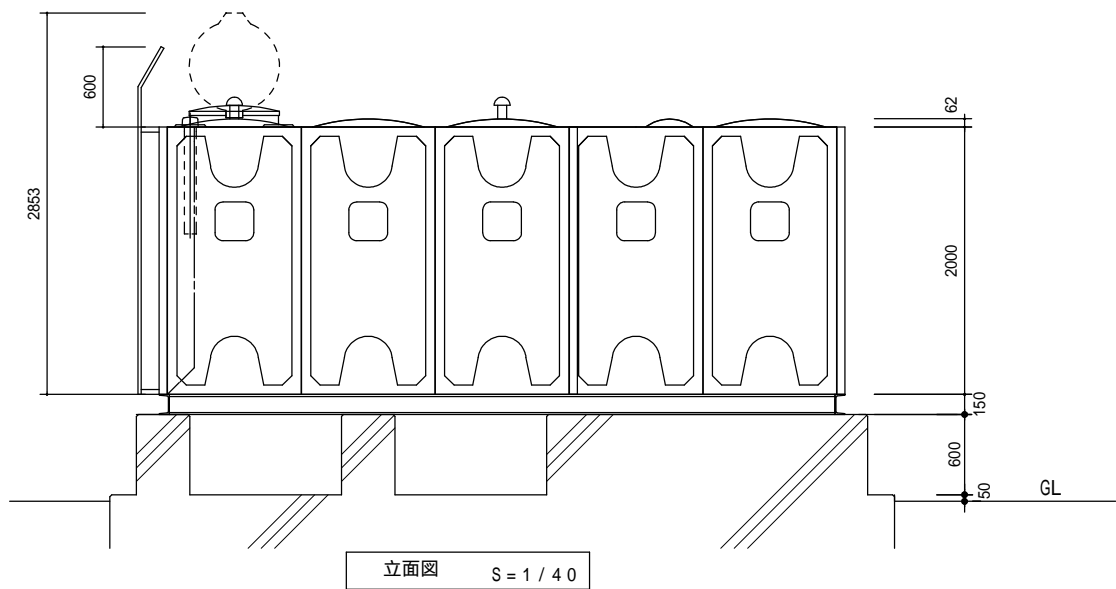
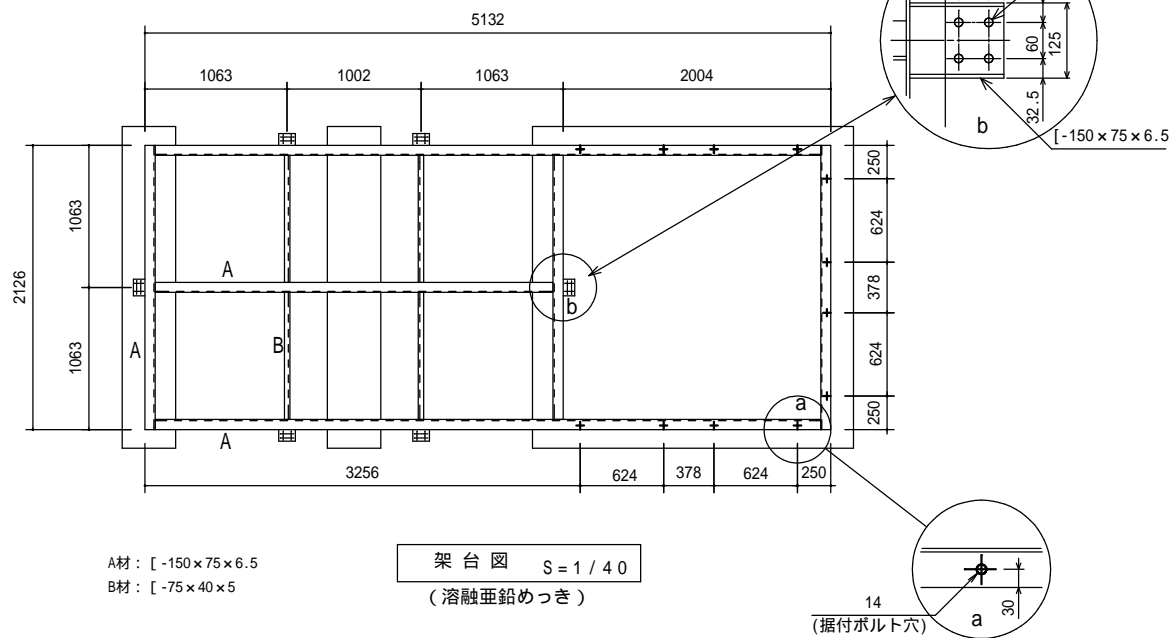
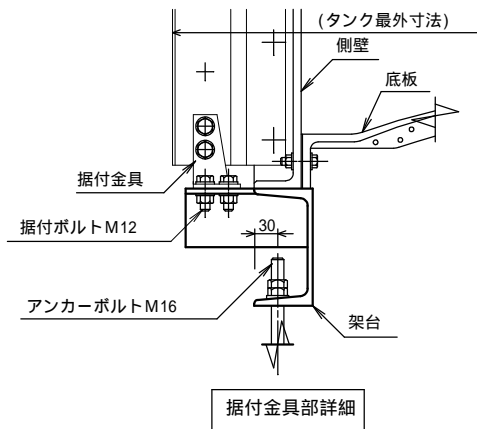
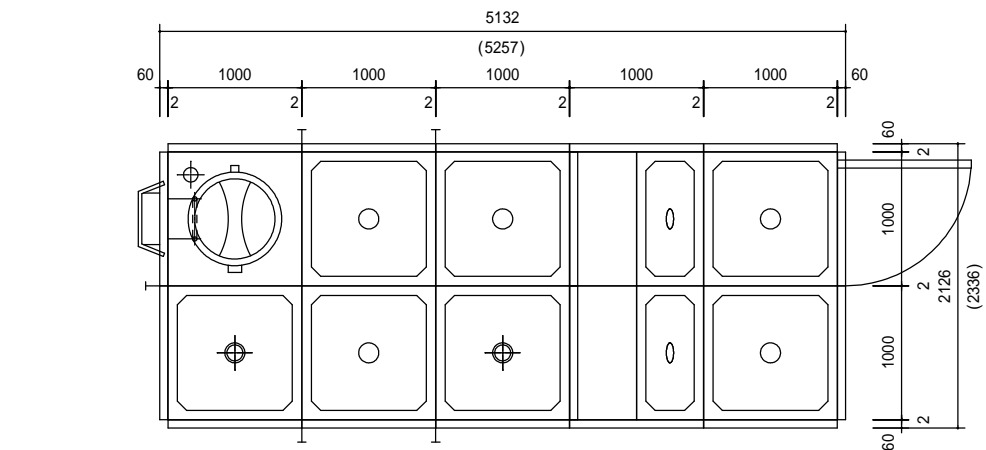
機器表			
記号	名称	仕様	数量
TW-1	受 水 槽	FRP製パネルタンク複合板 呼称容量：12.0m3 耐震強度：1.5 G	1
		ポンプ室付 全体寸法：.2000 x 5000 x 2000 H	
		水槽寸法：.2000 x 3000 x 2000 H （内・外梯子付）	
		ポンプ室寸法：.2000 x 2000 x 2000 H（片開き扉付）	
		平架台（溶融亜鉛メッキ仕上） コンクリート基礎（建築工事）	
P-1	揚 水 ポ ン プ	ステンレス製 多段渦巻型	2
		40 x 170 L / m i n x 32 m x 2.2 K w（3 200 V）	
		附属品：仕切弁、衝撃吸収型逆止弁（ナイロンコーティング仕様）	
		圧力計、フランジヒーター、	

屋外及びポンプ室の露出配管は凍結防止ヒーター巻きとする

配管部材				
種別	名称	記号	仕様	数量
給水	フレキシブル継手	F J	ステンレス製 J I S 10 K N -20 A ×300 L	1
	フレキシブル継手	F J	ステンレス製 J I S 10 K N -25 A ×300 L	1
	仕 切 弁	G V	J I S 10 K N -20 A	3
	仕 切 弁	G V	J I S 10 K N -25 A	1
	Y 形 スト レ ー ナ ー	Y S	J I S 10 K N -20 A	1
	Y 形 スト レ ー ナ ー	Y S	J I S 10 K N -25 A	1
	定 水 位 弁	F V	25A	1
	電 磁 弁	S V	AC100V-20A (通電閉)	1
揚水	フレキシブル継手	F J	ステンレス製 J I S 10 K F -65 A ×600 L	1
	球 形 ゴ ム フ レ キ	K F	J I S 10 K N -40 A	4
	仕 切 弁	G V	J I S 10 K N -50 A	2
排水	仕 切 弁	G V	J I S 10 K N -50 A	1
	防 虫 網		100 A	1
	間 接 排 水 受 金 物		125 A ×250	1



(縮小率：A2=100%,A3=70%)

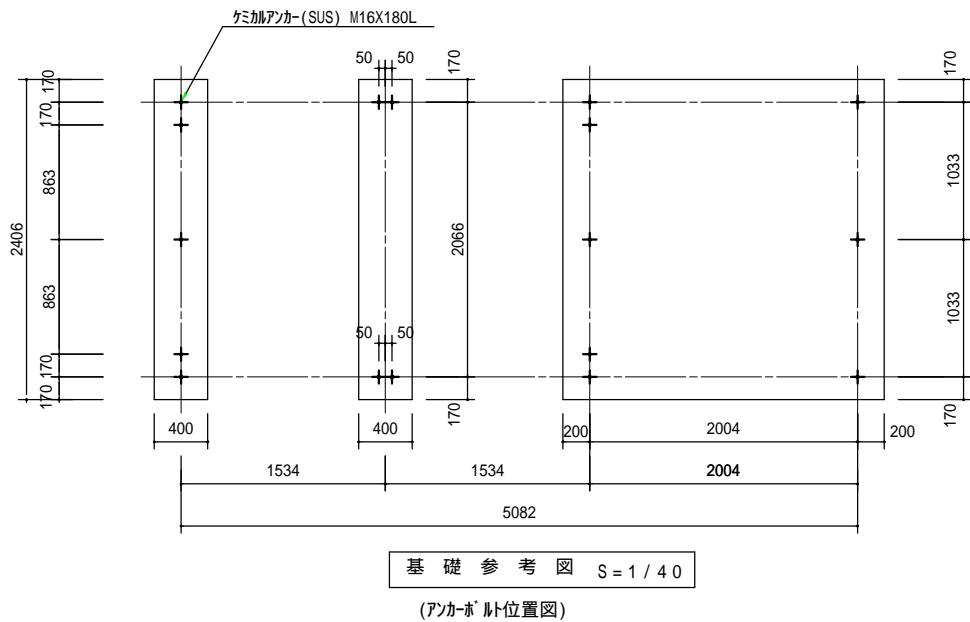


注記

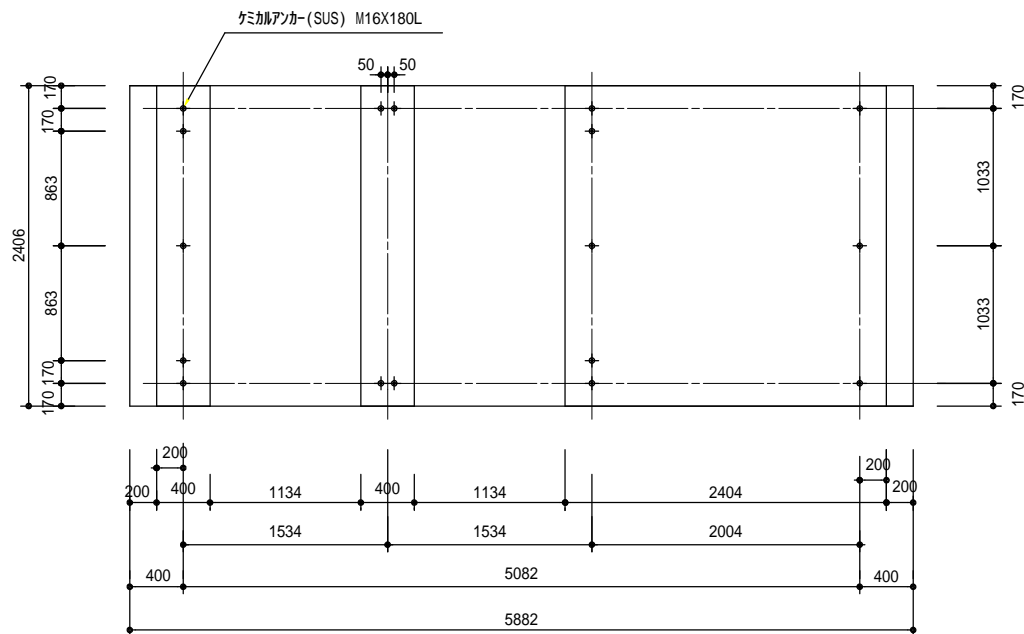
14	ドア	AL	1		790×1795H(ガラリ付)	DRC
13	ドアガラリ	ABS	2		200×250	
12	ポンプ室	FRP	1		2.0×2.0×2.0H	
11	外はしご	SS	1	巾385	溶融亜鉛めっき品	SR
10	内はしご	PVC	1	巾300		
9	電極取付用座	ABS	2	PF2	カバー・防波管付(透明)	
8	通気口	ABS	2	50A	防虫網付	
7	排水口					
6	溢水口					
5	出水口					
4	入水口					
3	入水口					
2	マンホール	FRP	1	600	取外し兼用型 内ふた付	
1	槽本体	FRP	1			
No	名 称	材質	数量	サイズ		
ヒシタンク GSH 型 12.0 M ³ (2.0×3.0×2.0H)						
水平震度：K _H ＝1.5			複合板構造			
三菱ケミカルインフラテック株式会社 同等品						

タンク外観色は、アイボリー（マンセル2.5Y9/2）
パネル締結用ボルトはSUS仕様
気相部は樹脂ライニングボルト・ナット品
水槽質量は、1025kg
（ ）内寸法はタンク最外寸法を示し【本図面は参考図とする】
側壁・底板部の平均保温厚は25mm、天井も複合板構造
ポンプ室は単板構造
公共建築工事標準（複合板）、SUSボルト仕様

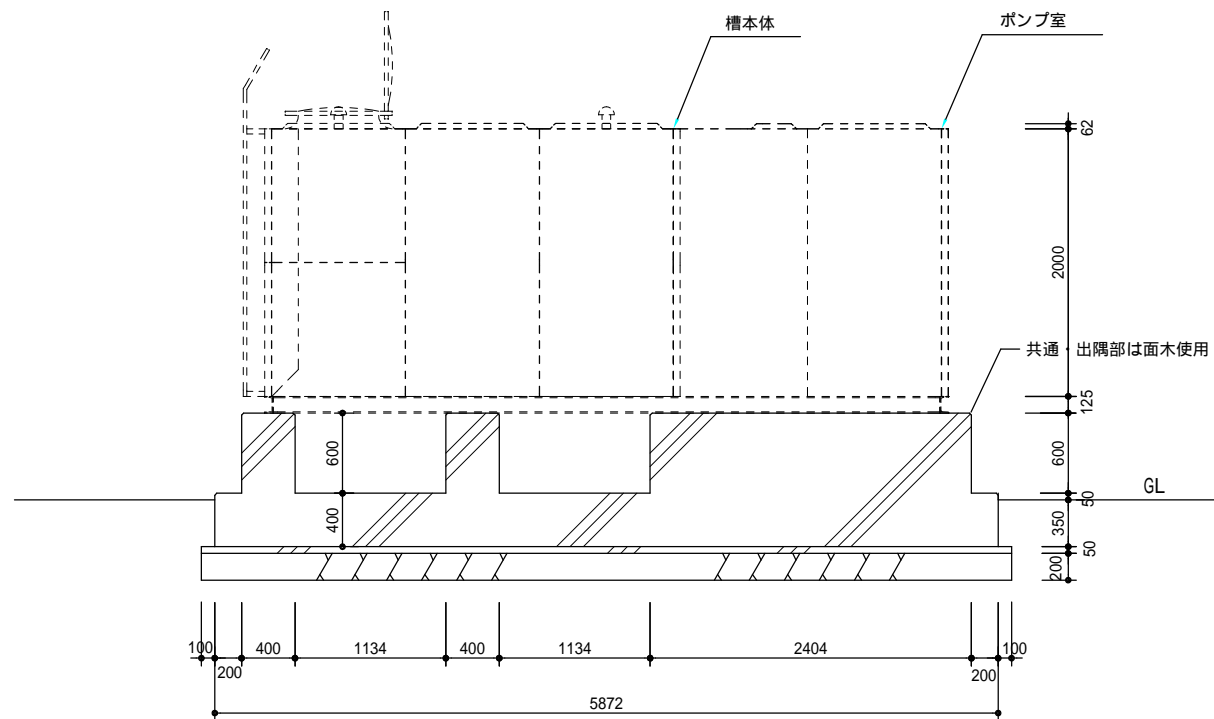
本図は配置図及び平面詳細図と逆になっております。
ご注意ください。



(縮小率 : A2=100%,A3=70%)

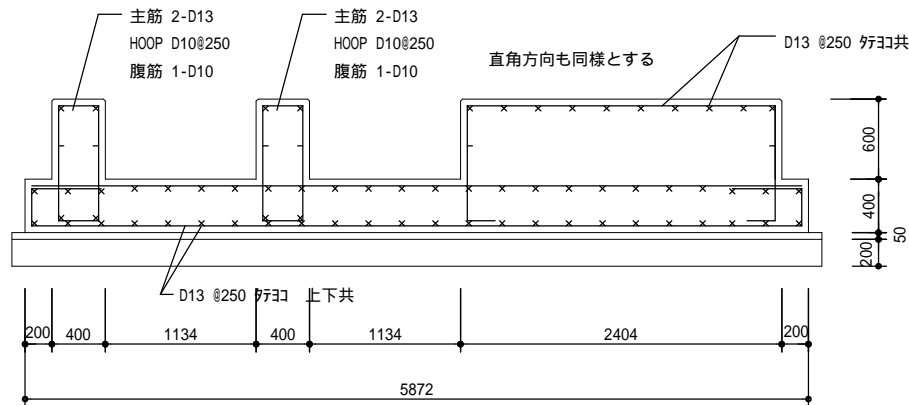


基礎伏図 S = 1 / 4 0



基礎断面図 S = 1 / 4 0

捨てコンクリート	Fc18-12-20
基礎コンクリート	Fc21-15-20
鉄筋	SD295A D10・D13
埋戻し土	A種 (良質搬入土)
型枠	打放し型枠(B種) コーナ部面木使用
施工図	事前に施工図を作成し監督員の承諾を得るものとする
その他	基礎周辺1500程度畑の土を撤去し良質搬入土にて整地とする t=150



基礎配筋図 S = 1 / 4 0

(縮小率 : A2=100%,A3=70%)

MEMO



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

T E L 0847-67-2472

広島県知事登録 (24(1)第3940号)

F A X 0847-67-3808

図面名 基礎伏図 基礎断面図 基礎配筋図

縮尺 S = 1 / 4 0

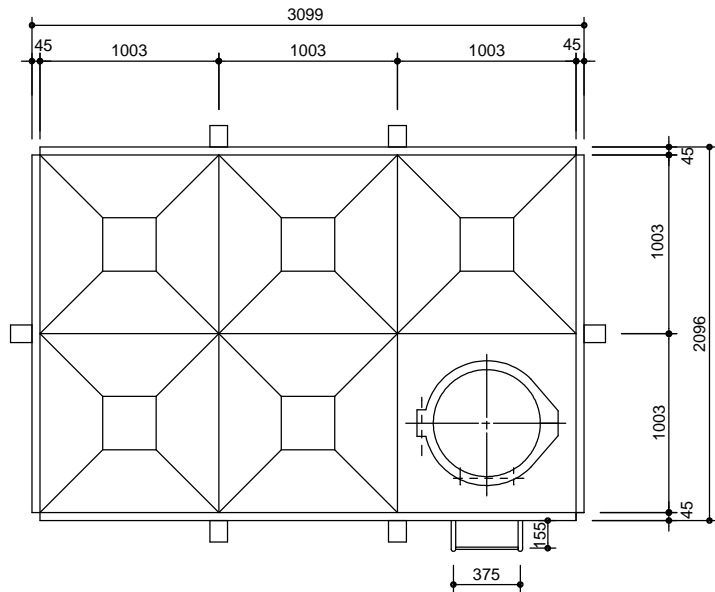
製作日

工事名 八次中学校給水タンク改修工事 設計図

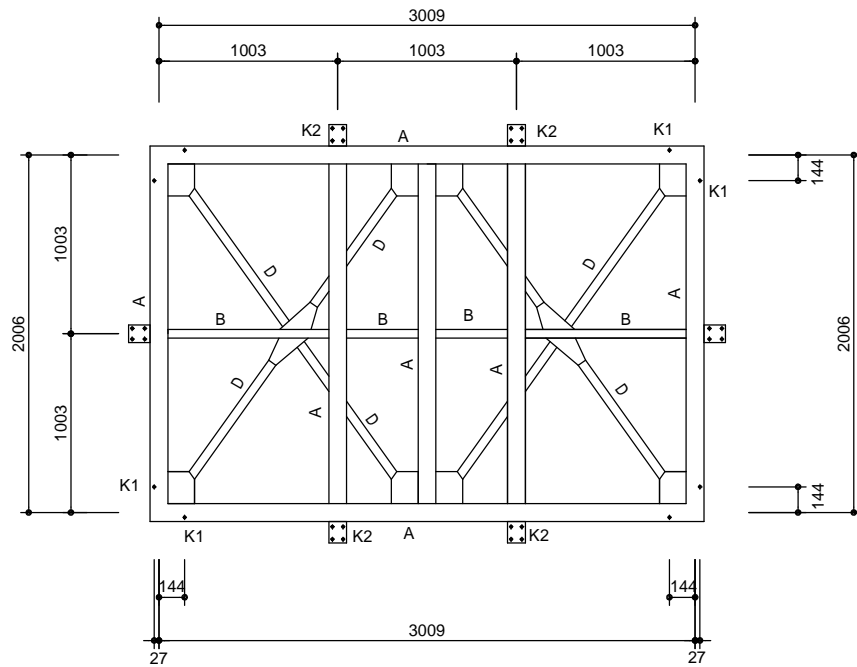
1級建築士
第111572号

永井秀昭

No. A - 12

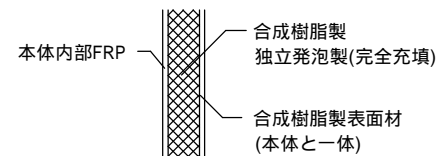


本体平面図 S=1/30

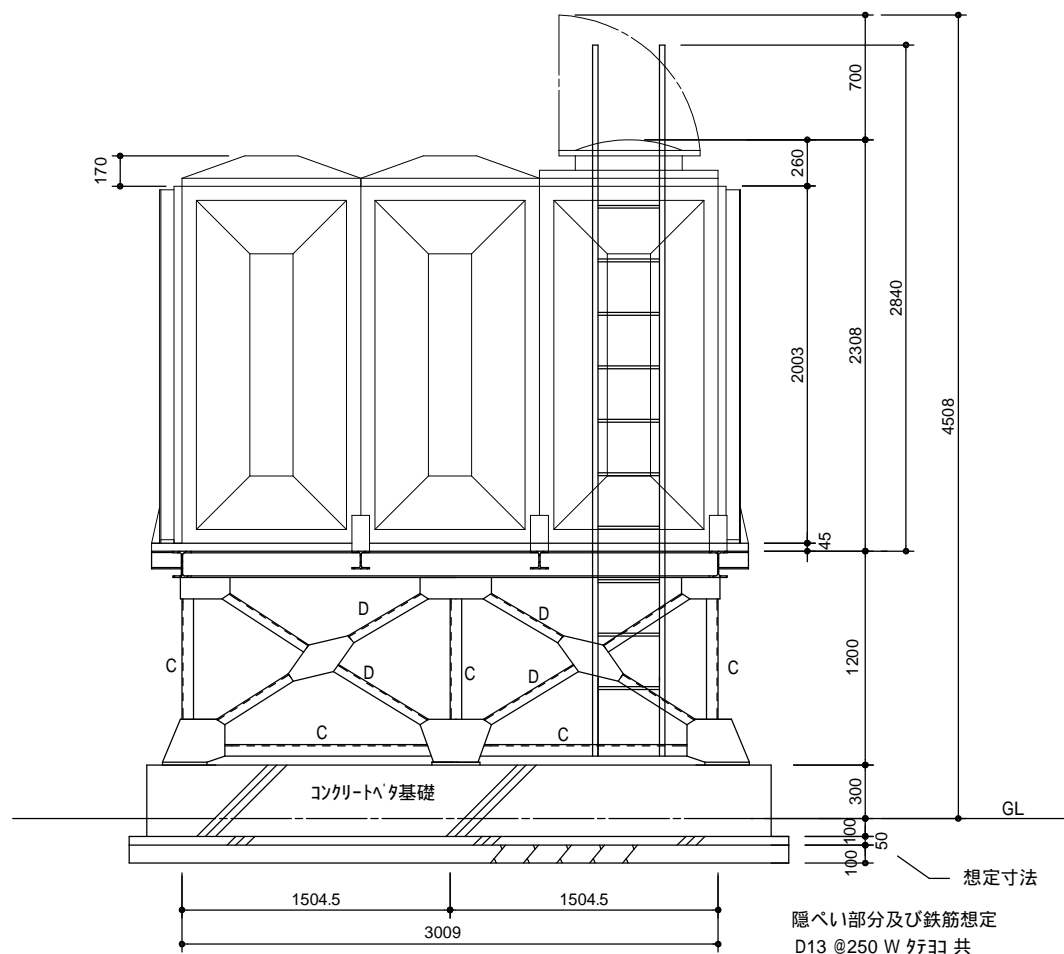


架台伏図 S=1/30

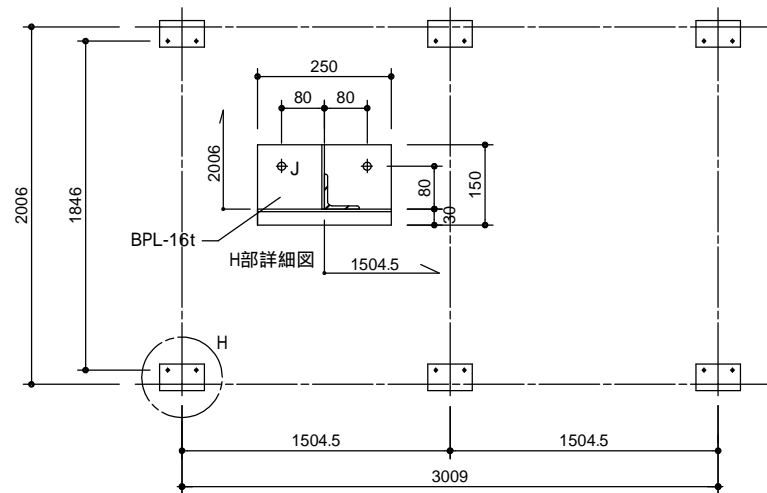
既設受水槽仕様	
FRPパネルタンク (複合板型)	
FJ-12トン (2 × 3 × 2H)	
構造基準	国交省告示第1674号適合品
耐震基準	2 / 3 G
底板	ノンスリップ
色調	ミルキーホワイト



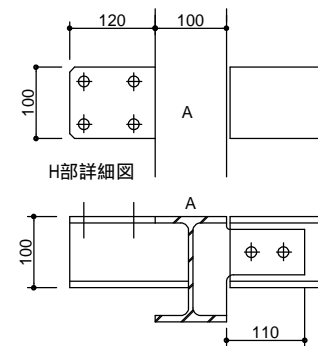
ホーム断面図



本体正面図 S=1/30



架台立面図 S=1/30

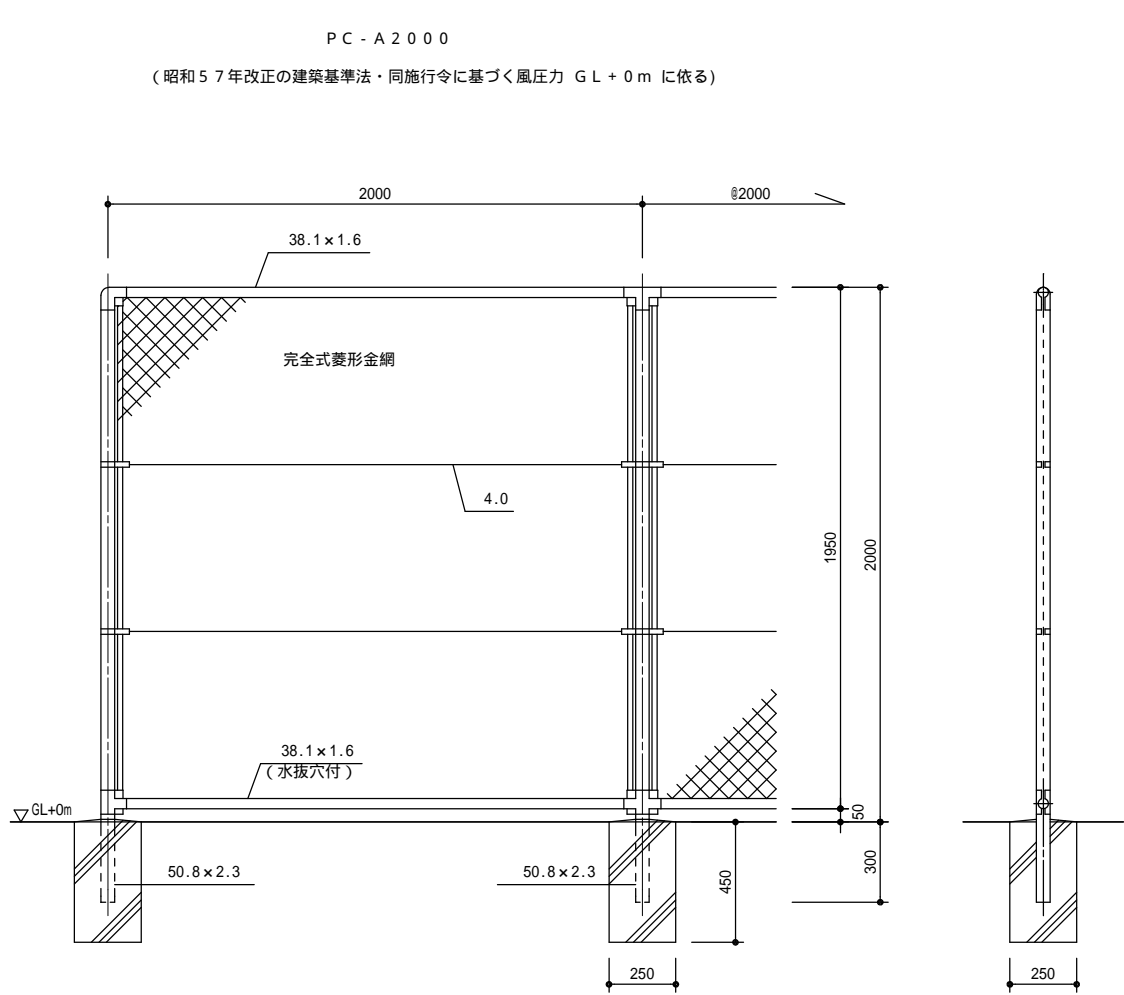


架台凡例	
A	H - 148 * 100 * 6 * 9
B	H - 100 * 50 * 5 * 7
C	L - 65 * 65 * 6
D	L - 50 * 50 * 6
K1	8 - 14 タンク据付孔 (M12)
K2	24 - 16 ボトム据付孔 (M12)
J	2 - 19 アンカーボルト孔 (M16)

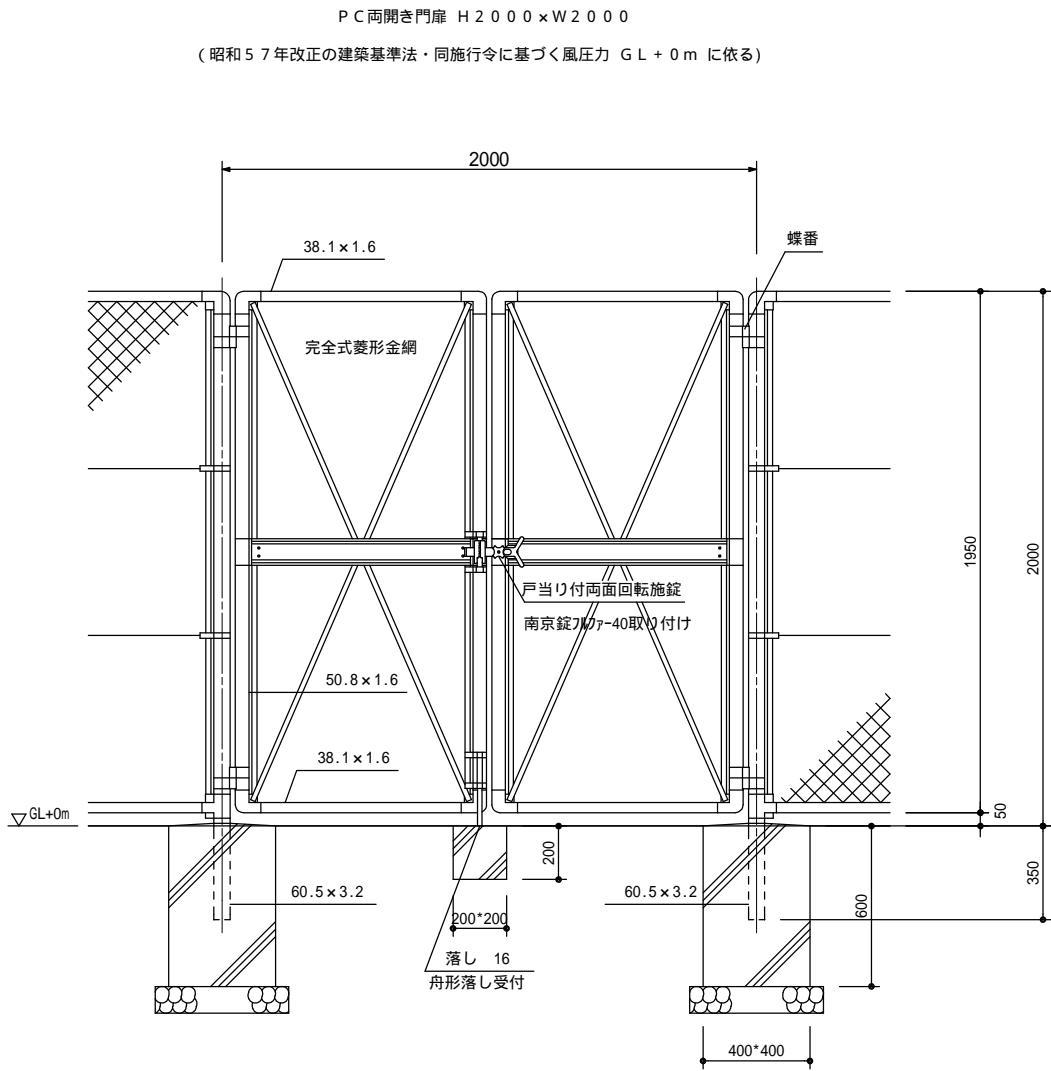
特記事項

- 1・今回の給水タンク改修工事に於いて既設受水槽(給水タンク)関係は全て解体撤去とする
 - 2・基礎コンクリート(捨てコンクリート含む、砕石は残置)を含み上部は全て解体撤去とする
 - 3・撤去跡は良質土(真砂土等)にて埋戻し、転圧の上整地とする(周辺100共)
 - 4・電気関係等も同様とする
- (基礎根入れ深さ、鉄筋の有無等については不明な為、有筋を想定にて作図しております)

(縮小率 : A2=100%,A3=70%)

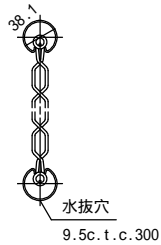


詳細図 S=1/20



詳細図 S=1/20

胴縁に金網取付断面図



設計条件

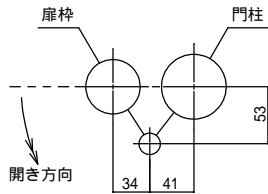
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m²(10t/m²)

備考

- 外装は金網類及びバブドワイヤを除く他は、溶融亜鉛めっきとする。300g亜鉛メッキ鉄線
- 本柵の金網規格は下記の通りとする。
3.2×50mm

門柱・庫枳位置関係図



設計条件

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m²(10t/m²)

備考

- 外装は金網類及びバブドワイヤを除く他は、溶融亜鉛めっきとする。
- 本図門扉は片側180°開きとする。

(縮小率：A2=100%,A3=70%)

MEMO (縮小率：A2=100%，A3=70%)



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

TEL 0847-67-2472

広島県知事登録 (24(1)第3940号)

FAX 0847-67-3808

図面名 フェンス詳細図

縮尺 S=1/20

製作日

工事名 八次中学校給水タンク改修工事 設計図

1級建築士
第111572号

永井秀昭

No. A - 14